まつのき保育園

園だより



2026. １０月号

Ｅﾒｰﾙ matsunoki_mori@beach.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://minnanomori.jp

まみころ祭り無事、開催しました



心配していた雨も降らず、まみころ祭りを年長児の太鼓からスタートできました。太鼓は仲間と息を合わせて同じリズムを叩きます。複数台の太鼓の音が一つに重なるように、子どもたちは声を出して、気持ちを一つに、演奏を披露してくれました。

続いた保護者と職員の太鼓では、大人の勇ましい姿と演奏を、子どもたちが目を輝かせて見ている姿が印象的でした。複数回の練習と共に練習帰りには自主交流会を行い親睦を深め、仲良くなったことが伝わってくる演奏でした。



お神輿は幼児３学年それぞれのチームで、段数や飾り等について相談して制作しました。子どもたちが自分たちでアイディアを出し合い決めていきます。その分、時間はかかりますが、子どもの言葉を拾い、みんなの願いをお神輿という形で叶えることが、学年を超えた仲間づくりにつながっていくと思っています。作っている間も、年長児が年少児の思いを受け止めて折り紙等の制作をしている場面がどのチームにも見られ、優しさを送り届けていました。

事前の準備から、実行委員長を中心に、実行委員の皆さんで子どもたちが楽しめるようにと、会議や担当部署で連絡を重ねて進めてくれました。

まみころ祭り恒例の卒園児（１年生）による手作り品の販売では、プチ同窓会のようになり、久しぶりに元気な姿を見ることができました。



今年の「まみころ祭り」は雨の心配があり、晴れと雨の内容を合わせて行いました。乳児の時間と幼児の時間を分けたため輪投げ等、ゆとりを持って回ることができたかと思います。盆踊りが日程の後半だったため、乳児の子どもの待ち時間が長くなってしまう反省もありました。

修正点はありつつも、子どもたちにとって、大人が真剣に太鼓を叩いたり、出店で色々な人とやりとりをしたり、和やかに他の家庭と歓談をしている姿を見せることは「大人になっても楽しい時間が待っている」と、明るい未来を届けることにつながるのだと思っています。

日々の忙しさの中で、疲れていたり怒れていたりする大人の姿を見ている子どもはきっと、誕生日にプレゼントをもらう嬉しさはあっても、大きくなること、大人になることを心から楽しみにできないのではないか？と最近、感じています。

今後も、保護者会活動を通じ、子どもと一緒に大人自身も楽しんでいただきたいと思っています。まみころ祭りにご参加いただき、ありがとうございました。

優しさを送り、広げる

お神輿作りの制作の時に、分からない子や困っている子がいると周りの年長の子どもたちが自然とフォローしてくれていました。その姿をよく考えると、フォローした子は年少児や年中児にいっぱい助けてもらっている子が多いのです。

人は、自分がされたように相手に接します。悲しみや怒りが他者に向くと、いじめになります。その連鎖は弱い方弱い方へと向かっていきます。そして、最後に行きつくのは、大きな悲しみです。

子どもたちには、受けた相手に恩（優しさ）返しはできなくても、保育の集団生活、仲間づくりを通して、受けた恩を送り、優しさの輪がつながり、広がることを願って、関わりたいと思っています。

カスタマーハラスメント基本方針の公表について

厚生労働省は、改正労働施策総合推進法に基づき、2026 年（令和 8 年）10 月 1 日からカスタマーハラスメント対策をすべての事業主に義務化しました。

義務化にあたり、当法人の HP にて基本方針を作成し、公表しました。

右記 QR コード「みんなの森福祉 HP」から

→「情報公開資料」

→「ハラスメント基本方針」

→「カスハラ基本方針（PDF）」

をご覧ください。